

1. あいさつ

2024 年度を終えて

創設から 30 周年を迎える節目となった 2025 年 3 月には、JA 共済ビルカンファレンスホールにて 200 名余りの方にご参加いただき、30 周年記念式典を開催することが出来ました。創設当初からご支援いただいている方から、最近協会の活動を知ってご支援を始めて下さった方々、団体、企業の皆さまとともに、介助犬、補助犬の歴史を振り返り、御礼をお伝えすることができる機会に恵まれました。

また、2024 年度は滋賀県で新たなる若き介助犬ペアを誕生させることが出来ました。介助犬希望時から、介助犬以外で解決すべき課題について取り組みつつ、数年に亘り伴走してきたの介助犬との合同訓練でありましたので、今後の活躍に大きな期待を寄せています。

With You プロジェクトは日に日に認知度が上がるとともにニーズが高まっていることを実感しています。欧米のように、社会参加をすることに取り組み始めた 1 年でありました。

Dog Intervention®にも、全国の医療機関における注目が集まり、医療機関、医療専門職からのご相談も増加傾向にあります。介助犬の医療機関における同伴受け入れ推進および介助犬希望者開拓にもつながる DI 活動には、他団体とも連携しながら取り組み、我が国での普及をめざしていく土壌が整いつつあると考えています。

ADI 加盟団体として認可されたことで、海外からのお問い合わせや認定等についての相談が増加しております。また、欧米の実績ある団体の繁殖ネットワークにも参加出来る土俵に上がることが出来、さらに、職員の研修派遣先としてのご協力も得られるようになりました。今後は、来日招聘をしたり、長期の研修派遣を行ったり、候補犬の導入をより定期的に行えるように展開していく所存です。

経済的には、決して順風満帆とはいえない昨今ではありますが、長年、菅野基金で介助犬の普及を支援して下さっている菅野投手が、念願の大リーグに行かれ活躍しておられる姿に励まされ、私たちもまた、常に視野を広く、頂点を目指し続けていかなければ、と思っております。

理事長 高柳友子

2. 令和 6 年度 事業報告

2-1. 介助犬等事業活動

(1) 肢体不自由者に対する介助犬貸与の取組み

① 介助犬の貸与

介助犬総合訓練センターにおける合同訓練を経て、1 組のペアが指定法人より新たに認定された。

② 介助犬使用者に対する継続指導

新規認定者を除く全使用者 16 名に対し、「アフターチェック表」、「介助犬健康診断書」による現状把握を行い、生活状況の確認を行った。

継続指導の手段、回数については以下の通り。

指導方法	回数
訪問/対面指導	36
オンライン指導	-
電話	31
メール	79

(2) 公益的活動

① 付添犬

NPO 法人子ども支援センターつなぐ職員 1 名への付添犬ハンドラー養成を実施し、付添犬キースとのペア認定を行った。

ハンドラー	付添犬		研修期間	認定日
	犬名	性別 (犬種)		
つなぐ職員	キース	オス (GR)	2024 年 3 月 1 日～ 2024 年 5 月 8 日	2024 年 5 月 8 日

② DI 犬®に対する継続指導

DI 犬®を貸与している以下の機関へのハンドラー指導を継続的に実施した。

貸与先機関名	指導回数
聖マリアンナ医科大学病院	4 回

③ 定期的な DI 活動

1) 下記のクリニックおよび機関に対し、定期的な DI 活動を実施した。

活動先	回数
野のすみれクリニック	24 回
千葉リハビリテーションセンター	2 回
川崎市児童相談所一時保護所 (2 カ所)	23 回
名古屋市児童相談所一時保護所	22 回

2) NPO 法人子ども支援センターつなぐからの付添犬派遣要請に対応した。

派遣先	回数
愛知県内	23 回
神奈川県内	11 回

3)その他、以下の対応を行った。

- ・板橋中央総合病院他、数機関にてトライアルを含む DI 活動の実施
- ・慶應義塾大学病院からの定期的な DI 活動の実施依頼に対応

(3) With You プロジェクト

① 犬の譲渡

発達障害、知的障害等の児童等のいる 6 家庭に対して犬を譲渡した。

譲渡先内訳	譲渡数
発達障害	4 件
知的障害	0 件
精神障害	1 件
身体障害	2 件
重複障害(身体障害+知的障害等)	0 件

② ADI の基準に則した検討

With You プロジェクトとして譲渡した 1 件に対して、ADI の認定基準に則した支援をトライアル的に開始した。

(4) 犬の飼育及び訓練およびボランティア指導

① 候補犬

候補犬 17 頭(新規入所犬 12 頭)の確保、評価及び訓練を実施した。

② パピーおよびパピーボランティア

パピーに対する訓練及びパピーホームボランティアに対して対面もしくはオンラインでの来訪デイや預かりレッスン見学等の実施、指導を行った。

③ PR 犬

介助犬啓発活動に参加する PR 犬の作業力維持のため、PR 犬(PR 候補犬含む)8 頭の育成・訓練を実施した。

④ 一時預かりボランティア

本部犬一時預かりボランティアに対し、犬の学習理論に関する講義を行った。

(5) 繁殖・犬導入等

① 繁殖

- ・3 回の出産を行い、11 頭のパピーを確保した。
- ・6 頭の繁殖犬(雌 3 頭、雄 3 頭)を確保した。
- ・内視鏡による人工授精は前年度に早まった為、今年度は実施なし。
- ・岐阜大学へ凍結精液の作成を相談の上、依頼した。

② 犬導入

- ・Service Dogs Australia よりパピーを 5 頭導入した。
- ・IBC(International Breeding Cooperative)よりパピー2 頭を導入した。
- ・国内盲導犬協会よりパピー1 頭、成犬 3 頭を導入した。
- ・国内ブリーダーより DI 犬用パピー2 頭を導入した。

保有頭数(令和 7 年 3 月 31 日現在)

保有頭数	
介助犬(貸与中)	13 頭
DI 犬®(貸与中)	1 頭
DI 犬®/PR 犬	12 頭
訓練中/評価中	8 頭
パピー	18 頭

繁殖犬	雄 2 頭 雌 3 頭
その他(CC 犬、引退犬等)	6 頭

2-2. 相談事業

(1) 介助犬希望者への相談支援

① 介助犬に関心のある障がい者対象の相談会

	日時	場所	参加者
相談会	7 月 7 日(日)	オンライン	4 組 (栃木県、岡山県 2 組、東京都)
	12 月 1 日(日)	横浜ラポール	1 組(埼玉県)
個別面談	対面		10 回
	オンライン		5 回

② 訪問調査等

介助犬希望者宅に対し、併せて 8 回の訪問調査、犬連れ訪問を行った。

③ 体験入所

介助犬希望者・待機者を対象にした体験入所を 10 月 31 日(木)～11 月 1 日(金)で実施した。

(2) DI を希望する専門職・専門機関からの相談

板橋中央総合病院他、9 つの病院等からの相談対応を行った。

(3) With You プロジェクト対象者向けイベント実施

① 譲渡済みご家族向け

6 月 22 日(土)With You 譲渡済みご家族向け犬レッスンを開催し、4 家族参加した。

② 登録者・希望者向け

8 月 4 日(日)With You プロジェクト登録者向けイベント・希望者向け説明会を開催し、登録者向けイベントに 1 家族、説明会に 4 家族参加した。

2-3. 普及啓発・広報活動

(1) イベントおよび企業連携

① 「介助犬フェスタ 2024」

5 月 18 日(土)、愛・地球博記念公園モリコロパークにて、『感謝の集い』と同日開催した。

来場者数	2,657 名
犬の来場頭数	150 頭 (内 CC 犬 53 頭)

② JA 共済連との連携

はたらくワンワンランド(JA 共済連主催)における啓発活動を、のべ 1 都 10 県 20 市区町村(東京都、千葉県、愛知県、福島県、新潟県、岐阜県、和歌山県、富山県、高知県、愛媛県、岡山県)にて行った。

③ 読売巨人軍等との連携

読売巨人軍および菅野智之投手(介助犬サポート大使)とのタイアップ継続による東京ドームへの出展、チャリティコラボ商品の企画・販売を行った。
訓練センターにて初の VENUS & GIABBIT のイベントを開催した。

出展回数	30 回
------	------

	(地方および沖縄キャンプ出展各 2 回、VENUS & GIABBIT 3 回を含む)
チャリティコラボ商品	計 8 点作成 (VENUS 関連 2 点含む)
累計販売数	3,879 点
累計販売金額	11,018,040 円 (予算比 141%)

④ 普及啓発募金活動

本部およびセンター近郊で地域に根付いた啓発を行うための募金活動を実施した。

募金回数	センター 4 件 本 部 6 件
募金額	1,757,377 円

⑤ その他の企業との提携

- ・株式会社モンベル: サポーターカードによる提携
- ・タリーズコーヒージャパン株式会社: 寄付付商品販売、コラボイベントの実施
- ・イオンペット株式会社: 「めぐるチャレンジ・絆キャンペーン」による募金活動
- ・株式会社オリエントコーポレーション: 社会貢献カードによる提携
- ・ファイティングイーグルス名古屋: SDGs パートナー締結
- ・名古屋オーシャンズ: 寄付贈呈実施

⑥ その他のイベント・講演会

年間計 170 件 (内オンライン実施 6 件) 実施した。

(2) 見学会および視察

① 見学会

実施日	参加者数	開催場所
4 月 13 日(土) 6 月 1 日(土) 7 月 27 日(土) 8 月 17 日(土) 9 月 14 日(土) 10 月 12 日(土) 11 月 16 日(土) 12 月 15 日(土) 1 月 25 日(土) 2 月 24 日(土) 3 月 28 日(土)	計 479 名	介助犬総合訓練センター

② 視察

介助犬総合訓練センターへの視察依頼を 31 件受け入れた。

(3) 広報活動

① マスコミ対応

依頼があった以下の媒体に対して、取材対応を行った。

媒体	件数
テレビ取材	10 件
新聞掲載	28 件
雑誌・広告等掲載	19 件
その他 (WEB 記事等)	22 件

② プレスリリース

プレスリリースサイト (PRTIMES) を通じて計 50 件のプレスリリースを実施し、計 1,297 件の記事転載が行われた (広告換算額: 49,550,918 円)。

③ SNS の活用

SNS を活用し支援者への情報発信・啓発活動に努めた。
登録者数等は下記の通り。

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

名称	登録者数等
X (旧 Twitter)	8,242 フォロワー
Facebook	10,955 フォロワー

Instagram	14,465 フォロワー
YouTube	3220 登録
Note	74,461 View

④ 会報

年間 4 回の会報誌作成・発信を行った。

⑤ ホームページ

支援者獲得に繋げるため、訪問者獲得の為の施策の実施およびホームページの改善を行った。

- ・Google Ad Grants の初期設定の見直しによる HP 訪問者数のアップ
- ・介助犬フェスタの広告運用開始
- ・活動報告の定期的更新(6 記事/月)
- ・キャッシュレス募金の導線を TOP に配置
- ・With You プロジェクトに関する動画の追加
- ・創設 30 周年ロゴの作成および公開
- ・施設紹介ページリニューアル着手(2025 年度春公開予定)

(4) 学会・出展等

① 学会

リハビリテーション専門職等への介助犬の理解を深めるため、デモンストレーションの機会を得た。

学会名	日程	開催地
第 124 回 日本外科学会定期学術集会	2024 年 4 月 18 日(木)～20 日(土)	AICHI SKY EXPO
第 61 回 日本リハビリテーション医学会	2024 年 6 月 13 日(木)～16 日(日)	渋谷 セルリアンタワー 東急ホテル 他
第 26 回 日本臨床獣医学フォーラム	2024 年 9 月 21 日(土)、22 日(日)	ホテル ニューオータニ
リハビリテーション・ケア 合同研究大会山梨 2024	2024 年 10 月 3 日(木)、4 日(金)	甲府記念日ホテル
第 59 回 日本脊髄障害医学会	2024 年 11 月 7 日(木)、8 日(金)	万国津梁館
第 32 回 日本慢性期医療学会	2024 年 11 月 14 日(木)、15 日(金)	パシフィコ横浜
第 52 回 四国理学療法士学会	2024 年 11 月 23 日(土)、24 日(日)	松山市総合コミュニティセンター コミュニティプラザ
第 16 回 日本身体障害者補助犬学会	2025 年 1 月 11 日(土)、12 日(日)	四條畷学園 短期大学
回復期リハビリテーション病棟協会 第 45 回研究大会	2025 年 2 月 21 日(金)、22 日(土)	札幌コンベンション センター

② 出展等

肢体不自由者等への啓発活動を以下の通り実施した。

名称	日程	開催地等情報
バリアフリー2024	2024 年 4 月 17 日(水)～19 日(金)	ブース出展 (インデックス大阪)

ヨコハマヒューマン テクノランド 2024	2024 年 9 月 22 日(日)	出展なし
国際福祉機器展 2024	2024 年 10 月 2 日(水)～4 日(金)	東京ビッグサイト(東展示ホール)

(5) 大学・専門学校における講義

以下の大学および専門学校において介助犬等についての講義を行った

＜大学＞計 18 回(対面 15 回、オンライン 3 回)

愛知医科大学、愛知保健看護大学校、愛知淑徳大学、中部大学、朝日大学、
藤田医科大学、日本福祉大学、大阪保健医療大学、帝京科学大学、
神奈川県立保健福祉大学、横浜市立大学、ヤマザキ動物看護大学、
名古屋外国語大学、ハワイ大学、駒澤大学

＜専門学校＞計 6 回(対面 5 回、オンライン 1 回)

中央動物総合専門学校、加茂看護専門学校、
ちば愛犬動物フラワー学園専門学校、専門学校名古屋ビジネスアカデミー、
カコトリミングスクール、東京 YMCA 医療福祉専門学校

(6) 講習会・交流会等

① ボランティア交流会

介助犬総合訓練センターにて 7 月 6 日(土)に開催した(29 名のボランティアが参加)。

② キャリアチェンジ犬ファミリー交流会

12 月 21 日(土)にドッグリゾート Woof 山梨県にて開催した(37 組のファミリーと 39 頭の
キャリアチェンジ犬が参加)。

2-4. 調査研究

(1) 学会協力および参加

第 16 回日本身体障害者補助犬学会学術大会において職員 2 名が一般演題発表を行
った。また補助犬デモンストレーションの依頼を受け実施した。

【演題発表】

・現場報告:日本介助犬協会のパピー育成プログラム(ボランティア指導)について
パピーCC 犬 G マネージャー 山口 歩

・飲食店事業者側とユーザー双方に対しての補助犬同伴受け入れ実態調査
総務広報 G 石田 夢果

2-5. 関係団体協力

(1) 補助犬育成団体との連携

① 連携団体および連携内容

日本盲導犬協会、北海道盲導犬協会、関西盲導犬協会、東日本盲導犬協会、九州盲導犬協会等との繁殖協力、キャリアチェンジ犬の導入先としての団体間の関係継続に努め、東日本盲導犬協会から成犬 2 頭、北海道盲導犬協会から成犬 1 頭、日本盲導犬協会からパピー1 頭を導入した。

② 学会加盟

日本身体障害者補助犬学会へ団体会員として加盟継続した。

(2) 諸外国の補助犬団体との連携強化

諸外国の補助犬団体と、介助犬の育成や繁殖事業に関する交流を実施した。

① 海外派遣

派遣先	日程	参加者
ADI Trainers Workshop(ベルギー)	2024 年 6 月 9 日～11 日	役員 1 名、職員 1 名
ADI(Assistance Dogs International) カンファレンス(アメリカ)	2025 年 3 月 2 日～5 日	職員 1 名
Assistance Dogs Australia (オーストラリア)	2024 年 8 月 21 日～22 日	役員 1 名、職員 2 名

② 加盟団体との情報交換

IBC(International Breeding Cooperative)の加盟団体と情報交換を行いパピー2 頭を導入した。

③ 国際活動連携の取組み強化

アドバイザー福井氏(委託契約)へ、上記研修の際に協力を仰いだ。

(3) 医療・福祉・行政等との連携強化

中部国際空港株式会社 UD 懇談会において、有識者として参加した。

2-6. 補助・助成申請

(1) 介助犬貸与に関する補助

2024 年度認定者在住の自治体より、介助犬貸与に対して下記の通り交付決定した。

都道府県名	補助金額
滋賀県	1,500,000 円

(2) 啓発事業に関する補助

愛知県より、介助犬啓発事業の補助として 123,000 円の交付が決定した。

(3) ふるさと応援活動支援事業としての補助

長久手市より、「犬の可能性は無限大！ 一步踏み出すあなたのそばに【日本介助犬協会の活動支援】」として 4,761,000 円が給付決定した。

(4) 助成団体・事業

名 称	金 額	事 業 内 容
こくみん共済 coop<全労済> 全国生活協同組合連合会 教職員共済生活協同組合	(100 万円) (250 万円) (200 万円) 計 550 万円	児童相談所や障がい児者の家庭等への犬の介入を通じた QOL 向上支援
シンシア基金	50 万円	介助犬育成事業に携わる人材育成
中部ウォーカーソン	30 万円	介助犬総合訓練センターにおける災害対策備品の整備

(5) その他

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン / Amazon 欲しいもののリスト

2-7. 管理・運営

(1) 理事会・評議員会

定款に定める理事会・評議員会を以下の通り開催し、適正な運営に努めた。

＊役員等体制(令和 7 年 3 月 31 日現在)

理 事・・・6 名 監 事・・・2 名 評議員・・・10 名
会 長・・・1 名 副会長・・・1 名 顧 問・・・3 名

<理事会>

開 催 日	出席 数	議 案	審議 結果
第 1 回 通常理事会 2024 年 5 月 31 日 於)JA 共済ビルカンファレンスホール 及びオンライン	理事 6 名 監事 2 名	第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び決算の件 第 2 号議案 社会福祉充実計画変更承認申請の件 第 3 号議案 定時評議員会招集の件	可決
理事会決議の省略 2024 年 7 月 11 日	理事 6 名 監事 2 名	第 1 号議案 社会福祉充実計画 終了承認申請の件 第 2 号議案 評議員会の招集事項の件評議員会書面決議の件	可決
第 2 回 通常理事会 2024 年 11 月 5 日 於) 介助犬総合訓練 センター 及びオンライン	理事 6 名 監事 1 名	第 1 号議案 役員賠償責任保険更新加入の件 第 2 号議案 就業規則等 変更の件 第 3 号議案 経理規程細則 変更の件(条・項ずれ修正)	可決
第 3 回 通常理事会 2025 年 2 月 27 日 於)日本介助犬協会本部 及びオンライン	理事 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 令和 6 年度 補正予算及び資金の積立ての件 第 2 号議案 土地購入の件 第 3 号議案 令和 7 年度 事業計画及び収支予算ならびに基金及び積立金 取崩しの件 第 4 号議案 次期 常勤役員の報酬等の総額見直し案の件 第 5 号議案 副会長及び顧問の委嘱の件 第 6 号議案 評議員選任・解任委員の補欠選任の件 第 7 号議案 令和 7 年度改選 評議員候補者推薦の件 第 8 号議案 令和 7 年度 施設長等選任の件 第 9 号議案 育児介護休業規程等 変更の件	可決

<評議員会>

開催日	出席数	議案	審議結果
定時評議員会 2024年6月21日 於)JA 共済ビルカンファ レンスホール 及びオンライン	評議員 8名	第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の件 第2号議案 常勤役員報酬規程変更の件(支給日) 第3号議案 令和6年7月～令和7年6月常勤役 員報酬等の総額の件	可決
評議員会 決議の 省略 2024年7月30日	評議員 10名	第1号議案 社会福祉充実計画 終了承認申請の件	可決

(2) 会員数増加および寄付・募金増加施策等

① 会員数維持および増加施策

- ・法人支援者への訪問(法人会員への誘導)
- ・会報(105号(4月))へのクレジットカードによる会費納入の案内の記載
- ・介助犬フェスタでの既存会員への特典配布
- ・高額寄付者へのカレンダーおよびお礼状送付
- ・年間5回程度のメーリングリスト配信

② 寄付および新規会員数増加施策

遺贈広告を含む啓発広告を展開し、寄付および新規会員数増加施策を実施した。

- ・新聞広告16回、婦人雑誌1回、士業向け冊子1回

資料請求	寄付等実績
計475件	寄付:50万円 マンスリー会員加入:1名 (判明したもののみ)

③ 寄付・募金箱等の実績

寄付・募金		実績等
寄付型 ラッピング自動販売機	新規(合計)	10台(103台)
	販売機からの入金	2,273,262円(新旧含む)
金券寄付	テレホンカード	1,280,000円
	商品券・QUOカード 図書カード・お米券	52,640円

募金箱	新規(合計)	30台(1,685台)
	募金箱からの入金	7,832,841円(新旧含む)
	イベントによる募金	3,370,098円
PAY募金	アマゾン pay,楽天ペイ	206,784円

(3) 年間行事の実施

① 感謝の集い

5月18日(土)に介助犬フェスタ 2024 同日同所にて感謝の集いを開催し、介助犬ペアの誕生、協会の活動紹介について報告をした。

② 使用者の集い

10月19(土)に介助犬総合訓練センターにて開催し、参加使用者は7名であった。

③ 慰霊祭

10月20日(日)に慰霊祭、納骨式を介助犬訓練センターにて開催した。

④ 創設30周年記念式典～想いを力に、新たな一歩へ～

3月14日(金)に創設30周年記念式典をJA共済ビルカンファレンスホールにて開催した。

(4) 計画的な施設保守・営繕の検討・実施

① 改修計画

介助犬総合訓練センターの敷地・建物・備品維持保全にかかる新たな改修計画を策定し数か年かけて実施する案を計画した。

② 災害時

災害時の安全な避難経路および避難場所の確保について、旧ドッグランの活用を含めて最終決定を行った。

③ 保有車両

保有車両について、経過年数や走行距離に基づいて計画的な購入や保守を販売店等に問い合わせ検討した。

④ 職員向けに労災予防および健康管理施策として、講師に山本愛氏(元ライザップトレーナー)を迎え、食事と健康運動についてのプログラムを実施した。

(5) 業務効率化とコストダウン施策の検討・実施

事務作業のDX化施策として、ファイルメーカーを用いた経費システム作業の構築、運用を開始した。当該業務について作業工程は3割減となった。

(6) 目標設定・人事評価システムの継続的活用

① キャリアパスの継続的活用

キャリアパスの継続的稼働を受け、面談を通して各職員が自身のキャリアについて考える時間を設けた。

② 目標到達度確認の評価システムを用いた昇給を今年度初めて導入した。

2-8. 人材育成・研修

(1) 訓練技術、ハンドリング技術の向上

犬を訓練、ハンドリングする各チームの職員に対して OJT により訓練、ハンドリング技術向上を強化した。

(2) 研修

資格取得・自己啓発に関する研修について、職員毎に計画的に研修を受講するよう働きかけると共に、職員自身からの申請によるセミナー等の受講も受け入れた。

受講セミナー一覧

- ・行動診療
- ・繁殖
- ・付添犬関連
- ・リスクリング人材育成事業(3コース)
- ・目標設定研修
- ・自閉症プログラム
- 等

2-9. 研修生制度

① 制度の継続的实施

2024 年に続き研修生制度の実施に向けて、プロジェクトチームを発足、準備を行った。

② 内定

2025 年度 4 月開講の研修生の募集を行い、プロジェクトチームおよび役員による選考の結果、2 名の採用内定を出した。

2-10. その他

以下の機関への職員等の派遣を行った。

派遣機関	内容	職員
名古屋市総合リハビリテーションセンター 千葉県千葉リハビリテーションセンター 兵庫県立総合リハビリテーションセンター	認定審査員	職員 1 名
名古屋市	名古屋市動物愛護推進員	職員 2 名
国立障害者 リハビリテーションセンター学院	身体障害者補助犬訓練者 等研修会講師	役員 2 名